

事後内部評価シート

調査研究課題名	ICカードを活用した都市交通のCRM戦略に関する調査研究 ポストペイ型ICカードシステムによる運賃の弾力化に関する実証 実験結果
担当者	前総括主任研究官 山口 勝弘、主任研究官 野澤 和行、 客員研究官 樋口 洋一、研究官 小池 剛史
当初目標と目標達成度	ポストペイ型ICカードシステム及び運賃の事後割引メニューの導入した実証実験を行い、当初、予定した実証目的である1)モニタによる利用状況の変化、2)これらのサービスに対するモニタの評価に関し、有意義な分析結果を得ることができ、当初目標を達することができた。
調査研究内容の妥当性	公共交通機関の決済に、ポストペイ型の交通系ICカードを導入した実験は、我が国初の試みであり、ポストペイサービスの提供は公共交通の分野の決済においても利用者ニーズに十分応えうるものであるなど多くの知見を得ることができた。
調査研究の仕組みの妥当性	最先端の知見を有する学識経験者及び民間企業並びに本省関係部局との間で、「次世代交通フォーラム」を設置し、的確な意見を受けながら調査研究を進めることができた。
成果と活用	ポストペイICカードの実用化に向けて検討中の交通事業者等に対してその内容をフィードバックした。 学会などで研究成果を発表するとともに、内外の多数の方と意見交換を行った。
その他	土木計画学研究発表会(2003年春大会)にて発表。 PRI Review2002年夏季号に掲載し、関係者に配布予定。
内部評価委員会意見	